

第4回まちづくり部会議事要旨

日時：平成16年6月17日（木） 19：00～21：30

場所：枚方市民会館 2階 集会室2

出席者：（部会員）8名

（市役所）4名

1. 部会連絡・報告事項（新島部会長）

イ. 第3回まちづくり部会議事概要確認

ロ. ネットワーク会議運営委員会議事概要説明

ハ. 6月20日（日）開催予定の「親睦フォーラム」紹介

ニ. 6月20日（日）「CO2削減百万人の環」紹介

ホ. 「住みたくなるまちづくり全国交流会」（於：福井市、10月8日～10日）紹介

* まちづくり部会から誰か参加してはどうか。（新島部会長）

ヘ. まちづくり部会への新規加入者紹介（本人欠席）

2. 枚方市都市計画・まちづくりの概要説明

イ. 都市計画課西川グループリーダー

* 平成4年に都市計画法が改正され、枚方市も市民と共有できる、望ましい都市像を分かり易く示し、具体的な都市計画の指針となる「枚方市都市計画マスタープラン」を策定（資料配布）。枚方市を大きく7地域に分け、夫々目指すべき方向付けを行っている。しかしその後時代の変遷に照らし、一部そぐわなくなっているが、現時点でその見直しは予定されていない。

* 都市計画では無秩序な市街地の拡大を防止し、計画的に市街化を図るため、「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分している。「市街化区域」では用途地域を定めたり、都市施設の整備や市街地開発事業を積極的に行っている。又、「市街化調整区域」では市街化を抑制する施策がとられている。

* 「市街化区域」の「用途地域」（例、商業、工業）では建設可能な建物が規制されている。

* 枚方市では現在「都市計画道路」の見直しを実施している。昭和 43 年に都市計画法が改正されたが、旧法に基づき国と地方自治体が地域住民の意見を取り入れることなく線引きした道路計画がそのままになっている。都市計画道路の区域では、自由に建築できないという制限があり、しかもそれが長期化していることから、地域の活性化が阻害されたり、長期未着手の都市計画道路では、計画当初とは社会情勢が大きく変化し、既に代替道路が存在している等、必要性がなくなっている計画道路もある。

* 現在は都市計画の策定・施行が国から地方に移管され、地方自治体の責任において、主体的に取り組む事が可能となったので、枚方市も大阪府と共同で、線引きされた道路が現時点で必要かどうかの見直しを行い、不必要な道路は計画から除外することを検討している。

ロ. 都市総務課向井グループリーダー

枚方市都市整備の一環として「枚方市駅周辺整備基本構想」(案)を本年 3 月策定(「概要版」資料配布)。(その他枚方市東部地域を対象に「里山基本構想」もある。)

* 5 月 1 日から末日まで枚方市のホームページで市民からの意見を求めてアンケートを実施。現在そのとりまとめを行っている。

* この整備基本構想は今後 10 年後、20 年後を見据えた長期構想である。

* この基本構想作成の目的は、枚方市駅周辺地域を枚方市の「顔」として、都市的魅力と文化性に富む風格あるまちなみ形成をはかるため、本地域の課題や土地利用の目標・方向性を市民、事業者、行政が共有するところにある。

* 枚方市駅周辺のまちづくりの基本コンセプトを「歴史と文化が薫る、川に開かれたまち」とした。

* そのコンセプト実現のための基本構想として下記の三つの軸を設定し、夫々の軸に合計 28カ所の拠点整備を行う。(配布資料参照)

・「ふれあい軸」---市役所周辺から枚方市駅、関西医大病院、ひらかた水辺

公園付近まで

・「歴史街道軸」-----京街道沿いで天の川から水面回廊（国道 170 号付近）まで

・「水辺軸」-----淀川舟運の航路を含めたひらかた水辺公園

八.まちづくり推進課島田グループリーダー

*まちづくり推進課は「構想」や「計画」の実戦部隊。市街地開発事業や建築協定等を担当

*枚方市のまちづくりは、住民と市との協働が基本で、枚方宿地区においては「修復型まちづくり」が中心。

*「枚方宿と京街道の整備」を平成 11 年度から着手。平成 12 年度に「枚方宿地区まちづくり協議会」が設立され、枚方市と「街づくり協定」を締結。平成 14 年度に「枚方宿歴史的景観保全地区」に指定し、街なみ整備事業として町家等の修景助成開始（5 件実施。）平成 15 年度には町家等の修景助成 4 件及び案内サインの整備 4 件実施。平成 16 年度には町家等の修景事業の継続に加え、新町地区の道路美装化工事、万年寺山展望台広場整備のための測量・設計着手、第 3 回枚方宿菊花祭り開催等を計画。今後の課題としては、京街道は交通量が多く自動車の交通規制対策、宿場・本陣跡に街づくり拠点化施設の整備等。（詳しくは配布資料「枚方宿と京街道の整備」を参照。他に枚方宿「街なみ・まちづくり」及び「枚方宿地区街づくり協定」の冊子を配布）

3. 質疑応答及び意見

イ. 部会員からの意見及び質問

*「枚方宿と京街道整備」の交通対策として行政は何かやっているか。

*枚方市駅周辺整備基本構想は長期構想との事だが、行政としてとりあえず対応している計画があるか。

*長期展望は分かるが、40 万都市として現在直面している課題にパッチワークで対処する訳にはいかないはず。ハードでなくソフトで対応しなければならないのではないか。

* 都市計画道路として「牧野・穂谷線」の線引きがされ、一部用地の取得はされているが、長期間放置されたままになっている。この実現性は？

* 枚方市内で高速道路や府道はわりと整備されており、一番整備が遅れているのは「市道」ではないか。

* 枚方市の都市計画で枚方市駅周辺整備基本構想のように部分的には方向付けがされていても、40万都市全体としてどんな街を目指しているのかわからない。又、枚方市の「核」となる地域がどこかわからない。

* 住みやすい街づくりにするための行政の助成はどうなっているか。くじ引きで決まる自治会長、自治会に入らない住民、自治会を結成しないマンション住民。それら様々な人々が暮らす校区コミュニティー協議会は、地域の問題解決能力が乏しい。

* 枚方市にシティホテルがないし、近い将来建築の計画は？枚方を訪問した外人やお客様が守口や高槻で宿泊せざるをえない。(のは枚方市民として心情的に寂しい)

* 「枚方宿と京街道」は残念ながら歴史的建物が点でしか残存していない。面の広がりがなく、街道に面して多くのマンションや駐車場があるため、歴史的雰囲気を壊している。又、「枚方宿地区まちづくり協議会」も「歴史的街なみの整備」「住民にとって住みやすい街」「商業地」の三つの実現を目標を掲げているが、中途半端ではないかと思われる。

ロ.行政からの回答及びコメント

* 「枚方宿と京街道」の交通対策として歴史街道用の駐車場設置を検討している。

* 「枚方市駅周辺整備基本構想」は10年、20年の長期構想なので、現時点での具体的計画はない。

* 「牧野・穂谷線」の実現性は薄い。予定の線引き上に家がドンドン建てられており、日に日に実現できない事情が増えている。枚方市として

この都市計画道路を廃止するのか、存続させるのか悩んでいるが、半年後には結論を出す予定。

* 枚方市内で道路についての一番の問題は「府道」。例えば、牧野駅前とか市民病院前のように、バスが通り歩行者も歩くには道幅が余りにも狭い。反面、「市道」はかなり整備されていて、国道を通らなくとも市内を自動車ですぐ目的地まで行ける体制が出来ていると判断している。

* 住み良い街づくりのため、行政としては土地区画整理事業による「地区計画」の推進や地区住民による「建築協定」の締結促進等により良好な住環境の実現に向けての努力をしているが、最終的には住民がその地区に住み続けることを前提にしないと「住み良い街づくり」はできないのではないか。

* 枚方市内にシティホテル建設の計画は過去何度も話題となった。京阪電鉄でも検討されたことがあるが、採算性の問題から実現していない。現時点で具体的計画はない。

* 「枚方宿地区のまちづくり」について、確かに中途半端な面は否定できない。しかし、歴史的景観保全のためには、まち並み保全型まちづくりとなるはずだが、開発が進み保全しようにももはや手遅れであるため、住民の現状を前提にすれば「修復型まちづくり」となるのはやむをえない。

4. 部会活動について

イ. フィールドワーク

* 5月23日(日)実施の第一回フィールドワーク「歴史散歩から枚方まちづくりを考える」の「アンケート」を提出。新島部会長がまとめる。

* 次回フィールドワークは9月ごろ実施。具体的には次回部会で決定する。

ロ. 部会活動の今後の方向付け

* 新島部会長から「あるテーマに対し部会員の何人かが同意してグループを形成し、ワーキンググループでの活動をしたい。例えば、「フィールドワーク」「勉強会で枚方市への提言」「身体を動かして市街美化への

貢献」といったテーマ。

* 部会員からのテーマ提案及び関連事項説明

- ・ 杉森会員：「犯罪と環境」
- ・ 新島会員：「枚方のみちを、安全で、楽しく、美しく」(資料配布)
- ・ 鍛冶谷会員：「枚方市アダプトプログラム」(資料配布)
- ・ 平野会員：「不法屋外広告物追放推進団体・推進員制」(次回部会で関連資料を提供)

5. 次回部会開催予定(開催場所の確保のため8月度まで日程を決定)

イ. 7月度 7月11日(日) 場所 楠葉公民館(末岡部会員の手配により予約)

ロ. 8月度 8月 5日(木)